



## 卒園後も続く関係を大切に

仲嶺 真弓

2021 年度、最終回のつばさっ子です。今年度も残り 1 か月となりました。毎年訪れるこの時期が、嬉しくもあり寂しくもある…なんとも複雑な思いにかられる 3 月です。いろいろな体験を通して、卒園を迎えるぞう組（5 歳児）の子どもたちは、これまでになく遅く、凜々しい姿が目に見えます。10 月の運動会で「保育園でできる最後の運動会やから！」と言っていた子どもたちの呟きが心に残っています。きっと日々の生活の中で、子どもたちの心の片隅にその呟きは反芻されてきたのだらうと思います。担任はじめ職員は個々の子どもの困り感はどこなのかを模索し、寄り添いながら、できる限りの声掛け、対応を考え、見守ってきました。この子への言葉かけ、寄り添い方はこれでいいのだらうかと…。きっと、卒園を迎えるその日まで、その自問自答の繰り返しは続くけれど、それが子どもたちの成長に繋がると信じ、日々の積み重ねを大切にしてきました。そして、年度終わりにも振り返り、問い返します。園が掲げている保育理念を、私たち職員はこの一年も大切に育もうとする姿勢を持っていたかということ。保育理念については、保護者の方には入園時に必ずお渡ししているつばさ共同保育園のしおりに載せています。保育園生活最終月に、ぜひゆっくり読み返していただければ嬉しいです。

### “自己表現できる力を身につける” “一人ひとりを大切に” “人間関係づくり”

日々の保育で大切にしたいこと、子どもたちに伝えていきたいと思っていることを、子どもたちと関わる中でできていたのか。何よりも大人の私たちも大人同士の関わりの中でどれだけ実践できていたのか。そこが一番大切で、大人の私たちが何度も自分に問い返し続ける必要があると考えます。今年度はどうだったのかというその問いの答えは、各職員がしっかり、自分自身の振り返りをするのは勿論ですが、これまで保護者が発信してくれた言葉の中にもその答えはあるように思います。

保育園は子どもだけでなく大人も育つ保育園でありたいという考えはこれからも変わりません。子どもたちが安心して過ごせ、育むことができる場所をつくるのは、職員だけでも、保護者だけでも力は足りないと思います。その両者の力が必要なのだと思います。ここ数年のコロナ禍を乗り越えてこられていることが、その証の 1 つだと思っています。そしてそれは保育園を卒園した後も、子どもが育つ地域がどんな地域であってほしいかという地域づくりを考えることにも繋がればと思います。卒園しても、子どものことを語り合い、大人の私たちも学び合える関係であると共に、子どもも大人も、いつもここにある一息つける場所であり続けられるように思いを込めて残り 1 か月も大切に過ごしたいと思います。

## 子どもたちに伝えたいこと



池本 美和

先日、初めて卒園式の予行を行いました。その日はお休みの子どももいつもの半数ぐらいの人数での参加でした。初めてとは思えないほどしっかりと歩いて証書を受け取り、自分の席に戻って行く子どもたちの姿を見ながら、司会の私は子どもたちが幼かった頃の姿を思い出しながら本当に大きく、頼もしくなったなあ！と嬉しい気持ちでいっぱいになりました。今年度の卒園児が歌うのは「ずっといっしょ」です。部屋で歌っている時とは違い、広いホールでいつもと違う雰囲気の中で、しかもその日は少人数で、恥ずかしさや緊張する気持ちも交じって普段と違うのは当たり前です。聞いていた私は、ただただすごいなあ！と感動していたのですが、歌った直後に子どもたちから「あ～！まねしちゃう」という言葉。つられて歌詞を間違ってしまった子もいたようです。その時担任は「自分がこうと思ったもの歌っていいよ！間違ってもある」と声をかけていましたが、自信を持って自分の覚えているのを歌ったらいいんだよ。まちがえても大丈夫。というメッセージでもあります。

子どもたちにとって、これから自分で判断していくことが出てきます。その時に、自分で決めるということ、それは決められたことを行うことよりもっと難しい。悔しい思いや嬉しい思いを感じ、葛藤しながら自分に向き合うこと。私自身も同じ思いです。子育てや仕事のなかでも葛藤があり、きっとこれからも続くと思います。私から保育園を卒園する子どもたちに伝えたいこと。

「自分が考えた通りに進んだらいい。その道が間違っているけど、そんなこともある。間違わないと気付かないこともある。そこからまた始めたらいいんだよ」

♪手をつなごう これからもいっしょ 手をつなごう おわかれじゃないよ  
泣きたくなったら 思い出すよ ずっとずっと だいすきだよ ♪ 「ずっといっしょ」より

保護者の方とはこの数年間、私自身は担任や主任として、気軽に声をかけて頂きいつも元気をもらっていました。子育てのことや園のこと、職員のことなど、これはどういうことなのかと分からないときにも発信してもらえたことで考えることができました。一緒に考えてもらえ支えられてきたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。そして 4 月からは小学校での新しい生活が始まりますが、どうぞこれからも一緒に子どもたちのことを見守ってあげてください。